

# 令和7年度 自己評価 報告書

(次年度に向けた改善方策、前年度の改善方策について実行した結果を含む)

重点目標		A	B	C	D	・成果・課題・改善案
1	前年度の学校評価から明らかになった課題や、児童の実態、保護者の思いを踏まえ、学校が伸ばそうとしている特色や解決を目指す課題に即して重点目標を具体的かつ明確に設定し、示している	16	6	0	0	令和6年度より重点的に取り組んでいる人権教育を通して児童の心が育つ中、本校の課題に即した「時を守り、場を清め、礼を正す」の共通指標は非常に分かりやすく、指導観として明確である。今後はこの3原則を日常に落とし込み、更なる定着に向けて粘り強い指導と前向きな啓発を継続していく。
2	教職員は重点目標を共通理解している	12	10	0	0	
3	保護者・地域へ重点目標を十分に説明している	10	12	0	0	
4	重点目標にそった取組を、全教職員で計画的に進めている	9	13	0	0	計画に基づき指導することで、人権教育等の取り組みを円滑に進めることができ、児童の心も育っている。今後は本校の課題に即した分かりやすい「時・場・礼」の更なる定着へ向け、粘り強い指導を継続する。
	自由記述					
5, 6, 7, 8, 9については、児童の様子をABCDで評価する。その上で、取り組んだことと成果、課題と改善点を記述する。						
5	①思いやりのある、優しい子ども：他者の存在を尊いものと認め、その心を形（態度・行動）として表現することの基本となるあいさつや、他者の考えをしっかりと聞く態度や行動ができる児童の育成を図る。	4	18	0	0	人権尊重教育推進校としての組織的な実践や朝会での啓発により、児童の人権感覚や「礼を正す」意識は育ち始めている。浸透の時差や進んで挨拶する態度に課題を残すため、来年度以降も心の成長を促す指導を根気強く継続する。
6	②課題発見と解決にむけて主体的・協働的に学ぶ子ども：基礎的基本的な学習内容を身に付けさせ、自らが主体的に学び、相互で高めあう授業を通し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続ける児童の育成を図る。	6	16	0	0	「せたがや探究的な学び」や協働的な学習を各学年で意識したことは、児童の成長に良い効果をもたらしている。研究授業を通した国語科の「話す・聞く」の重点的な指導も実を結び、他者の考えをしっかりと聞く態度の育成が着実に進んでいる。来年度は、研究主任に「せたがや探究的な学び」ワーキンググループに参加させることで、その成果を校内に還元していく。
7	③心身ともに健康で自らの力でたくましく生きる子ども：基本的な生活習慣や望ましい運動習慣を身に付けさせ、健康な心と体をもつ児童の育成を図る。	6	16	0	0	人権教育やいじめ防止で心を育み、縄跳びや外遊びの奨励を通じて心身の健康づくりに努めた結果、体力向上や外遊びへの高い意欲が見られた。今後も子どもたちが主体的に健康を意識できるよう、指導を継続する。
8	児童に「よい学習習慣を身に付けさせる」ための指導をし、成果をあげている。	3	19	0	0	児童に良い学習習慣を身に付けさせる指導を行い、着実な成果をあげている。各学年での探究的な学びや協働的な学びの意識、研究授業による国語科の「話す・聞く」の重点的な指導も相まって、主体的に学ぶ姿勢がより良く育っている。次年度は、非認知能力の育成を校内研究の柱に置くことで、児童の主体性を更に伸ばしていく。
9	児童に「ひとつでも多くの自信をもたせる」ための指導をし、成果をあげている。	9	13	0	0	良い学習習慣の定着に加え、運動会やマツノッキーフェスティバル等の行事を通して児童の自信を高められた。目標に向かって努力することや自己有用感の向上が見られ、探究や協働の意識とともに豊かな成長に繋がっている。次年度は、非認知能力の育成を校内研究の柱に置くことで、児童の自己肯定感や自己有用感を更に高めていく。
	自由記述					行事での成功体験を自信に繋がれた反面、授業に集中できない児童への対応や保護者との状況共有に課題を残す。今後は現状を変えるべく家庭と緊密に連携し、自己有用感を感じられる活動を継続して状況を改善する。
地域との連携・協働による教育		A	B	C	D	
10	地域の人材や施設等の活用を進めている	12	10	0	0	地域や近隣施設との積極的な連携が進み、6年生の総合的な学習では保護者をゲストティーチャーに迎えるなど活発な連携が実現した。地域と協働した豊かな学びは児童の成長を支えており、今後もこの絆を活かした教育活動を前向きに推進する。
11	保護者や地域の方々からの相談等に、丁寧に対応している	13	9	0	0	日頃から保護者や地域の方々の声へ真摯に耳を傾け、丁寧な対応を継続している。この緊密な意思疎通を基盤として信頼を更に深め、より良い学校づくりを推進する。
12	地域の行事等に積極的に参加している	5	16	1	0	子ども縁日や夏祭り、ハロウィン等の行事を通して地域との楽しい交流が図れた。出勤日等に配慮した自由参加の体制を維持しつつ、今後も地域の一員として主体的な関わりを大切にしていく。
13	学校運営委員会の活動について十分な情報を提供している	5	16	1	0	来年度から立ち上がる学校運営協議会での協議内容を教員・保護者・地域へより明確に伝えるため、今後はニュースレター等の発行を検討する。情報共有の方法を最適化し、地域と連携した学校運営を推進していく。
14	学校支援地域本部の活動について十分な情報を提供している	3	15	4	0	学校運営や地域本部の活動状況について、教員側への迅速な情報共有を徹底する。可視化された伝達方法を検討し、地域との連携をより強固なものにしていく。来年度は、新たな組織である学校運営協議会の運営で計画的に推進していく。
15	P T A活動が活発に行われていて、その活動に協力している	15	7	0	0	活発なP T A活動へ積極的に協力し、家庭と学校の強いネットワークを構築している。今後も密なコミュニケーションを大切にし、より良い学校づくりを推進する。
16	家庭教育の充実に向け、必要な情報を提供している	7	14	1	0	タブレット端末の強みを活かし、学校と家庭を双方向で結ぶ活用方法を前向きに模索していく。より迅速で手軽な情報共有を実現し、家庭との絆を一層強固なものにする。
	自由記述					
教育課程		A	B	C	D	
17	学習指導要領に従い、「キャリア・未来デザイン教育」に基づき、教育課程を編成している	12	10	0	0	キャリア・パスポート等の実践が児童の自己理解に繋がり、確かな成果を得ている。今後も学習指導要領に基づき、未来デザイン教育を教育課程の中で更に充実させていく。
18	教育課程の編成の趣旨等を教職員で共通理解している	11	11	0	0	
19	教育課程の管理を適切に行っている	15	7	0	0	
20	児童の実態に即した生活時程になっている	6	15	1	0	現行の登校時刻や1時限目の開始時刻は児童の実態に即しており、見守り体制も機能している。

21	各教科の年間授業時数を確保している	13	8	1	0	学級閉鎖による影響があったものの、各教科の年間授業時数は無事に確保できる見通しである。今後も専科教員との緊密な連携による徹底した時数管理を継続していく。
22	教育目標を共通理解し、児童・保護者・地域の方々への説明をしている	13	9	0	0	
	自由記述					
学習指導		A	B	C	D	
23	「せたがや探究的な学び」に基づく授業や教育活動を実践している	7	14	1	0	今後は校内での情報共有や実践の積み重ねを通し、せたがや探究的な学びへの理解をさらに深めていく。指導の軸を明確にし、児童の主体的な学びをより一層推進する。
24	指導目標・指導内容を明確にして指導計画を作成している	12	9	1	0	年間指導計画の作成前に確実な打ち合わせ時間を確保し、単元変更等の情報共有を徹底する。各教科主任との連携を強固にし、整合性の取れた指導計画を編成していく。
25	目標・内容を明確にして計画的に授業を進めている	11	11	0	0	
26	繰り返し学習する内容、発展的に学習する内容を適切に行っている	12	10	0	0	
27	教材研究を行い、指導方法の工夫・改善を図っている	14	8	0	0	
28	少人数指導の成果が見られている	10	12	0	0	算数少人数指導をはじめ、多くの講師による専門的な教科指導が児童の確かな学力向上に繋がっている。今後も講師陣との連携を深め、より手厚い指導体制を維持していく。
29	個に応じた指導を適切に行っている	9	13	0	0	取り出し指導や放課後補習「池之上クラブ」が、必要な児童の学習補充に大きく貢献している。自己肯定感を高める有効なアプローチとして、今後も個に応じた指導を継続する。更に次年度は、学校運営協議会の学習支援チームと連携することで、教育効果を高めていく。
30	体験的・問題解決的な学習を進めている	10	12	0	0	
31	1分を大切に授業を行っている	6	16	0	0	全校で「時を守り」を実践したことで、時間を大切に作る姿勢が身に付いてきた。委員会活動等での集合状況も改善されており、今後も時間を意識した指導を徹底する。
32	ことばの力を高める言語活動を取り入れた授業を行っている	10	12	0	0	国語科を核とした校内研究の推進により、各授業で「ことばの力」を高める指導を意識的に実践できた。この研究成果を基盤に、今後も豊かな言語活動を工夫していく。
33	指導と評価の一体化を図っている	11	11	0	0	
34	評価規準を明確にして評価している	9	13	0	0	6年生の外国語を3人体制で指導したことで、内容の定着と同時に評価規準の確実な確認が実現できた。今後もこの緊密な連携を生かし、客観的で適切な指導と評価を徹底していく。
35	基礎的・基本的な内容の定着を図っている	10	12	0	0	基礎基本タイムを有効活用し、知識の定着に成果を上げている。今後は高学年も国語や算数を中心に行うなど内容をさらに工夫し、より確実な学力の向上を図る。
36	教材教具を整備し、積極的に活用している	12	10	0	0	定期的な教材整理日の設定により、必要な教具が常に使いやすく整備されている。この恵まれた環境を活かし、今後も視覚的で分かりやすい授業展開を推進する。
37	ICT機器を積極的に活用している	16	6	0	0	教員と児童のロイロノート活用能力が着実に上達し、ICT機器の積極的な利活用が進んでいる。今後もデジタル環境の強みを活かし、学びの質を更に高める。
38	学校図書館を積極的に活用している	12	10	0	0	学習時期に合わせた司書のきめ細かなサポートのおかげで、豊富な資料を授業に導入できた。今後もこの緊密な連携を継続し、図書館資料を生かした探究的な学びを深める。
39	教科「日本語」のねらいについて、共通理解している	5	17	0	0	
40	教科「日本語」の授業の充実に取り組んでいる	3	19	0	0	
41	総合的な学習の時間を年間指導に基づき計画的に指導している	9	12	1	0	計画変更の見える化を図り、常に最新の年間指導計画を共有できる体制を整える。
42	総合的な学習の時間について評価を適切に行っている	6	15	1	0	
	自由記述					
生活指導		A	B	C	D	
43	「子供のいるところには大人がいる・大人のいないところには、子供もいない。」を徹底している	6	10	5	1	隙間時間における大人の不在や教室外の児童への対応が課題である。今後は支援員等との協力体制を再構築し、見回りの強化や全校的なルールの再徹底を図り安全を守る。
44	児童の規範意識や社会の一員としての自覚を高めている	5	17	0	0	児童の規範意識等に課題を捉え、必要に応じた即時指導を徹底している。今後は各教育活動を通し、発達段階に応じた責任感や自己有用感を計画的に育ていく。
45	基本的な生活のルールや学校のきまりを、児童に理解させている	6	14	2	0	チャイム順守など基本ルールの徹底には、指導基準の共有が不可欠である。今後は「時・場・礼」を軸に全校で足並みを揃え、一貫した指導で児童の理解を深めていく。
46	生活指導上の課題に組織的かつ迅速に取り組んでいる	8	14	0	0	
47	「学校生活アンケート」や「Q-U」を活用して、児童の変化や訴えに気づき、いじめの未然防止や早期発見に取り組んでいる。	12	10	0	0	
48	学級や学年、授業での児童の様子を夕会等で伝えることで、児童理解や生活指導の状況を共有し、学校全体で指導に当たっている。	17	5	0	0	
49	いじめ防止基本方針を設定し、未然防止や早期発見・対応に向け、組織的かつ迅速に取り組んでいる	14	8	0	0	
50	保護者等からの相談に誠実に対応している	15	7	0	0	
51	スクールカウンセラーや相談室との連携を図っている	15	7	0	0	

	自由記述					新校舎への移転を機に、基本的な生活習慣としての遅刻防止指導を再徹底する。まずは大人が朝会の時間順守や式典での美しい姿勢で範を示し、指導効果を高めていく。
道徳		A	B	C	D	
52	年間指導計画に基づいた指導をしている	12	10	0	0	
53	道徳的心情・判断力・実践力を育てている	8	14	0	0	
54	家庭や地域とも連携して「人格の完成をめざして」の取組を進めている	5	17	0	0	保護者への認知度向上に向け、新学期初めの発信を強化していく。年度初めに本取組の意義を分かりやすく周知するなど、家庭との緊密な連携のもとで教育活動を推進する。
	自由記述					
特別活動		A	B	C	D	
55	年間計画に基づいた指導をしている	9	13	0	0	
56	児童の創意工夫をいかした指導をしている	9	13	0	0	マツノッキーフェスティバルを通して、児童が自主性を発揮し創意工夫する姿が見られた。この行事での成功体験を自信に繋げ、日々の授業でも主体的な学びを促していく。
57	児童の自主的・実践的な態度を育てている	9	13	0	0	
	自由記述					
学校行事		A	B	C	D	
58	児童が主体的に行事に参加している	14	8	0	0	行事において高学年が自ら判断して活躍する姿は、全校の主体性を引き出す良い契機となった。この成功体験を日常の活動にも繋げ、自律的な児童の育成を推進する。
59	学校行事の工夫改善を進めている	13	8	1	0	水泳指導の早期終了や検定など、暑さを避けた運動会時期の調整など、児童の安全と効率性を考慮した工夫改善が進んでいる。今後はマツノッキーフェスを定着させ、教育活動をより最適化する。
60	学校行事の準備を適切に行っている	14	8	0	0	
61	行事の事前・事後の学習は確実に行われ、行事を通じた学びは、学級活動や教育活動に生かされている。	15	7	0	0	
	自由記述					
健康教育		A	B	C	D	
62	児童の体力向上や健康教育に取り組んでいる	9	13	0	0	
63	食育の推進に計画的に取り組んでいる	12	10	0	0	児童が楽しみにしている図書とのコラボ給食など、工夫を凝らした食育が着実に機能している。この良好な連携を基盤に、今後も計画的で豊かな食育活動を展開していく。
64	体力の向上や健康教育等について保護者の理解と協力を得ることができている	6	14	2	0	学校保健委員会等の機会を生かし、健康教育への保護者の参画を促す工夫を行う。給食の残食問題も含め、家庭の理解を深めるための丁寧な啓発活動を前向きに進める。また、次年度は、歯科指導の在り方を見直す。
	自由記述					すくすくタイムの運営方法を精査し、持続可能な計画へと見直す。また、低学年から丁寧な食育指導を徹底し、食器の配膳等の基本を全校で定着させていく。また、次年度は「心の教育」（ストレス・マネジメント等）にも取り組む。
キャリア教育		A	B	C	D	
65	「キャリア・未来デザイン教育」を年間計画に基づき計画的に実施している	7	15	0	0	
	自由記述					6年生の総合的な学習の時間にキャリア教育を位置付けた実践は、非常に有意義であり、高い成果を上げた。この成功を基盤に、今後も計画的な未来デザイン教育を進める。
特色ある教育活動		A	B	C	D	
66	学び舎の特色ある教育活動を実施している	6	15	0	0	
67	特色ある教育について児童や地域・学校の実態に応じた教育活動を実践している	7	14	0	0	
	自由記述					
特別支援		A	B	C	D	
68	校内体制が整備され校内委員会が機能している	15	6	0	0	定期的な委員会開催により校内体制が機能している。この基盤を生かし、今後は緊急時等の臨時開催も含めたより迅速できめ細かな支援体制へとアップデートする。
69	個別指導計画を作成し活用している	14	6	1	0	取り出し児童への指導計画の必要性を正しく確認し、共有を図る。今後は各担任が確実に作成・活用できる体制を整え、個に応じた組織的な指導の充実を目指す。
70	区の教育相談室や関係機関との連携を図っている	9	11	1	0	引き続き、学校側から迅速かつ積極的にアプローチを重ね、連携の緊密化を図ることで、児童への早期支援へと繋げていく。
	自由記述					
幼小連携		A	B	C	D	
71	就学前教育を踏まえた新一年生に対する指導（新入生保護者会など）を行っている	17	4	0	0	マツノッキーフェスティバルへの招待が新一年生親子に好評であり、高い成果を上げた。今後は従来のわくわくパーティーを廃止して本行事へ一本化し、業務を精選しつつ魅力ある幼小連携を進める。
	自由記述					

学校経営・学校運営		A	B	C	D	
72	校長の経営方針が明確に示されている	19	2	0	0	
73	校長のリーダーシップが発揮されている	17	4	0	0	
74	教職員一人一人が主体的・組織的に教育活動を行っている	15	6	0	0	
75	各分掌の取組内容や計画を明確にし、適切に進めている	14	7	0	0	教務の積極的なロイノート活用や予定更新は、非常に分かりやすく成果を上げている。この迅速な共有に応え、教員側も確実な連絡と協力を徹底し、組織的な運営を進める。
76	I C Tを活用して校務を進めている	13	7	1	0	連絡ツールの混在による見落としリスクが課題である。今後はツールの集約・一本化を進めるとともに、T e a m s等のチャット活用も模索し、迅速で確実な校務を推進する。
77	事故・災害等に迅速に対応できる体制を整備している	10	10	1	0	有事の確実な人数確認のため、専科移動時の不在児童情報の共有に課題を残す。今後は報告手順の共通ルールを全校で徹底し、迅速な安全確認ができる体制を整える。
78	学習状況を確認する仕組みについて校内学習確認会議や合同学習確認会議などを効果的に活用して、授業改善を実施している	6	14	1	0	調査教科の改編に伴う未実施を契機に、次年度は新たな分析・共有方法を検討する。日々の評価も交えた検討会を工夫し、組織的な授業改善を前向きに推進していく。
79	国や都が実施している学力調査、体力調査等の結果も十分に活用している	5	15	1	0	各種調査結果を保護者面談等で丁寧に開示し、家庭との確実な共通理解を図る成果を上げた。今後はこのデータを児童一人ひとりの指導や授業改善へさらに還元していく。
80	学び舎内の組織を効率的に運営している	6	14	1	0	来年度へ向け、研究で目指す土台を共通化する話し合いが進み、期待が高まっている。今後も学び舎内の連携を深め、組織の効率的かつ一体的な運営を推進していく。
	自由記述					
学校評価		A	B	C	D	
81	学校評価を適切に実施している	10	11	0	0	
82	保護者や地域の意見が、適切に学校運営に反映されている	8	13	0	0	
83	学校関係者評価委員会に対し、評価に必要な情報を適切に提供している	10	11	0	0	
	自由記述					
教職員		A	B	C	D	
84	問題意識や悩みを気軽に話し合える職場となっている	16	5	0	0	
85	教職員の服務規律への自覚が高く、かつ守られている	16	4	1	0	服務への自覚を高めるため、各役職の勤務時間を年度当初に全校で共有する。相互の休憩時間を考慮した計画的な校内委員会の開催など、服務順守の徹底に活かしていく。
86	体罰関連行為のガイドラインに基づき、体罰等のない適切な指導が行われている	18	3	0	0	
	自由記述					全職員がアルバム写真の撮影に参加できるよう、放課後等の適切な時間設定を検討する。勤務時間への配慮と児童管理の隙間をなくす工夫を通し、組織の融和を図る。
研究研修		A	B	C	D	
87	校内研究会・研修会が充実している	13	8	0	0	今年度は人権教育の実践を深めた。今後は学び舎の意向も視野に入れつつ、次年度に目指す研究の方向性について年度末に全校で協議し、更なる研修の充実を図る。
88	校内研究が授業力向上、日々の授業改善につながっている	14	6	1	0	人権感覚の高まりに手応えを感じている。今後は従来の形式に囚われず、個々が課題に沿って複数回授業を公開し合うなど、時間対効果の高い柔軟な研究スタイルも模索する。
89	世小研の活動に積極的に参加している	10	11	0	0	
	自由記述					
保健衛生管理		A	B	C	D	
90	児童の実態を踏まえた計画的な健康指導を行っている	11	10	0	0	担任の負担軽減と児童の確実な健康指導を両立させるため、実施時間を再考する。養護教諭の提案を活かした短時間かつ定期的な指導への移行を含め、計画を柔軟に見直す。
91	日常の健康観察を適切に行っている	18	3	0	0	連絡アプリ「すぐーる」の活用により、児童の欠席理由や健康状態の迅速な把握が可能となった。この可視化された情報を活かし、今後も日常の丁寧な健康観察を徹底する。
92	感染症等の予防、対応を適切に行っている	18	3	0	0	
93	学校環境の衛生管理を適切に行っている	15	6	0	0	用務主事による行き届いた清掃のおかげで、極めて衛生的な学校環境が維持されている。今後は児童に対しても、トイレ等を清潔に使用しようとする美化の意識を粘り強く育んでいく。
94	学校給食の衛生管理を適切に行っている	18	3	0	0	
	自由記述					
安全管理		A	B	C	D	
95	危機管理マニュアルを有効に活用している	14	7	0	0	
96	通学路の安全点検を適切に行っている	13	8	0	0	
97	犯罪被害等防止の取組を適切に行っている	12	9	0	0	
	自由記述					
情報提供		A	B	C	D	
98	保護者や地域の方々に対して情報を積極的に提供している。	14	7	0	0	
99	保護者や地域の方々に教育活動を積極的に公開している（学校だより、HP、校内掲示など）	17	4	0	0	
	自由記述					

経 理		A	B	C	D	
100	予算の執行を適切に行い、点検をしている	17	4	0	0	
101	私費会計の徴収・会計処理を適切に行っている	18	3	0	0	
102	コスト意識をもち、予算等を有効に活用している。	13	8	0	0	
	自由記述					
情報管理		A	B	C	D	
103	学校から発信する文書は校長の決裁を得ている	18	3	0	0	
104	指導要録等の記入・点検・整理・管理を適切に行っている	18	3	0	0	
105	個人情報 を適切に管理している	17	3	1	0	職員室を中心として、物理的な重要書類の施錠管理は徹底されている。今後は機密情報保護の観点から職員室への立ち入り基準をより厳格化し、休日に実施している子ども食堂の炊飯場所を教職員が不在の職員室から別室へ変更する等のセキュリティ対策を講じて安全管理を強固にする。
106	校務パソコンを適切に活用している	18	3	0	0	
	自由記述					
施設設備		A	B	C	D	
107	教育環境を整備している	18	3	0	0	不審者や着替え対応時の安全確保に向け、経年劣化した扉用マグネットの更新を急ぎたい。空き教室への新規配備も含めた迅速な備品整備を行い、強固な防犯体制を構築する。
108	日常的な施設設備の管理や点検を適切に行っている	16	5	0	0	
	自由記述					
その他						
	自由記述					校外学習予約の早期共有による効率化を維持しつつ、指導のゆとり創出を図る。PTA任意加入に伴う黄色い帽子購入の私費化移行や、学校公開の段階的な時間短縮など、適正な業務改善を行って持続可能な学校運営を推進する。また、指導のゆとり創出に向け、Formsによるアンケートのデジタル化を推進し、校舎に入る手順の掲示や清掃指導の全校統一を徹底する。